

渋川学区 まちづくり通信

発行 渋川学区まちづくり協議会設立準備会（事務局：渋川市民センター）
〒525-0025 草津市西渋川2丁目9-38 TEL 569-0350
メールアドレス sc-shibukawa@city.kusatsu.lg.jp FAX 566-5143

渋川学区まちづくり協議会の設立に向けて

取組みの考え方について

渋川学区は、平成15年4月に、人口増加に伴い草津第二学区より分離し、独立した自治連合会としてスタートしました。渋川小学校が新設開校され、平成19年5月に渋川市民センターが開所しました。それまで地域コミュニティの拠点としての公民館が欲しいと地域住民の強い要望の末、障害者支援機能を含めた複合施設として渋川福複センターが新設され、発展する渋川学区のシンボルとなりました。

渋川学区の現状を見ると、人口は増加し、高齢化率も年々高くなる傾向にあり、少子高齢化の波は、当然、渋川学区にも確実に押し寄せてきています。駅周辺を見ても変貌しつつある当地域、また、その発展に伴い変化する生活環境に反比例して、行政と地域、地域と学校などの関係・連携、行政と住民要求、人間関係の希薄化傾向が強まっています。

このような現状の中で、地域住民が同じ方向に向いて力を合わせていけるまちづくりが求められています。現在、存在している各種団体（例えば、自治連合会[町内会]・社会福祉協議会など）が独自の活動をそれぞれが行っています。

各種団体の行事を見てみるとよく似た行事を別々に取り組んできましたが、今後は個々の団体の取組みではなく地域の行事と位置づけて関係する団体が協力し合って取り組んでいきます。そのためにも関係する団体と住民が智恵を出し合い、協力し合って、「子どもも高齢者もみんなが愛着と誇りをもって渋川に住んで良かった」というまちづくりをしていきます。

そのためには、まず地域住民が智恵を出し合い、話し合い、自分の思いを声に出す。そして、その土台となる「渋川学区まちづくり協議会」を設立し、誰もが豊かな老後生活を、また、育ち盛りの子どもたちが自由に遊びまわれる「まち」（地域）をつくるため、まちづくり協議会の設立準備会を立ち上げ、草津市の中の渋川学区をどんな「まち」にするのか議論を数回重ねているところです。これからも当協議会設立に向けて話し合いを続けていきます。

さらに、地域住民と行政が密接に連携して、ひとり暮らしになっても住み慣れた「まち」で、地域住民が助け合い、譲り合い、向こう三軒両隣の絆が深められる「まち」にするため、地域住民みんなが話し合い、ルールづくりをして、このルールをみんなで守り、そして、渋川に住んで良かったといえる「まち」を目指して、取り組んでいきます。

是非、「渋川学区まちづくり協議会」の設立に、ご理解とご協力をお願いします。

ご意見、ご質問がありましたら、市民センターまでお願いします。

今までの取組み経過

- ・ 12月8・16日、1月10日「事前検討会」開催・・・設立準備会発足に向けて
- ・ 1月23日「渋川学区まちづくり協議会」設立準備会発足
(構成団体数46団体、内、検討部会団体数27団体)
- ・ 2月24日「学習会」開催(市まちづくり協働課より)・・・市の考え方について
- ・ 3月16日「第1回検討部会」開催・・・今後のスケジュール、予算等について
- ・ 3月29日「第1回全体会」開催・・・今後のスケジュール、予算等について報告・承認
- ・ 4月4日「第2回検討部会」開催・・・趣意書(目的)、交付金の概要等について
- ・ 4月18日「第3回検討部会」開催・・・趣意書(目的)、目指すもの等について
- ・ 5月9日「第4回検討部会」開催・・・規約(案)・組織(案)、住民への周知等について
- ・ 5月23日「第5回検討部会」開催・・・規約(案)・組織(案)、住民への周知等について

今後の取組み

12月2日「渋川学区まちづくり協議会」設立総会の開催を目標に、規約・組織・事業計画等について検討部会・全体会での検討・協議を下記のスケジュールで進めて参ります。

平成24年度											平成25年度
～5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～

